

## 1 今年度の取組目標等に関する自己評価

### （1）教育活動への取組と自己評価

#### 【学習指導】

- ・ 生徒の学力向上を図るべくわかる授業の実践を継続した。授業力向上に資する校内研修については、教員相互授業見学、授業力向上研修（悉皆）を継続して実施し、一層の授業改善に取り組んだ。
- ・ 教科指導と連動した朝学習の全学年実施により生徒に自発的な学習態度を養わせることができた。
- ・ アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業や一人1台端末等を利活用した授業実践を推進した。生徒に「わかる・できる」を味わわせ、学びに向かう力を引出し、自ら学ぼうとする態度と能力を身に付けさせた。
- ・ 予習、復習を前提とした授業実践や日々の課題並びに週末課題を課すなどの工夫に加え、昨年度導入したweb学習システムの効果的な活用により授業外学習時間の定着を図った。

#### 【生活指導】

- ・ いじめ対策防止基本方針に基づき、いじめの実態把握調査を計画的に実施し、いじめの未然防止及び早期発見、早期解決に取り組み、重大事態の発生を防いできた。
- ・ 遅刻防止、頭髮、服装に係る指導を継続し、落ち着いた校風の維持に資するよう生徒・保護者はもとより第三者にも誤解されることのないよう留意しながら、適切、丁寧な生活指導の推進に努めてきた。
- ・ 生徒の自己指導能力の育成を目指すという生活指導の積極的な意義を踏まえ教育活動全体を通じて学習指導、進路指導と関連付けながら一層の充実を図った。
- ・ 生徒の問題行動等未然防止、校内の安全管理を徹底すべく生活指導部を中心にきめ細かな指導に取り組んだ。

#### 【進路指導】

- ・ 生徒に入学年次から明確な進路意識をもたせられるよう進路指導計画の見直し、修正等を繰り返しながら丁寧な進路指導を推進してきた。
- ・ 進路指導部と学年が連携し、最後まで「諦めさせない指導」を実践してきた。大学・短大等進学者割合は3年連続で目標（60%以上）を達成した。
- ・ 令和4年度から進路指導体制の見直し、再構築に取り組んできた結果を進路状況に反映させることができた。

#### 【特別活動・部活動】

- ・ 体育祭、文化祭は安全・安心を優先して実施した。生徒には、企画や運営の経験を通して社会性などを身に付けさせることができた。
- ・ 生徒の自治的な活動を支援することにより生徒会活動の活性化を図ろうとしたが課題が残った。
- ・ 部活動と学習の両立を図るため部活動単位による勉強会を奨励し、一部の団体は実践できた。

#### 【健康・安全】

- ・ 自転車運転に係る被害・加害の当事者にさせないため自転車事故未然防止に係る指導を徹底するとともに、関係機関（警察署、足立区）の協力を得て自転車乗車に係る指導・啓発活動を行うことができた。
- ・ スクールカウンセラーによる1年生全員面談を実施するほか、生徒一人一人の実態把握に努め、学習不振や学校不適応、いじめや問題行動等の未然防止はもとより早期発見・早期解決に生かしてきた。
- ・ 自転車乗車時のヘルメット着用の徹底に向けた指導に取り組んだ。東京都教育委員会から提供された指導資料や啓発資料等を生徒及び保護者宛て周知し、指導を進めるとともに保護者回答を通じて家庭への協力依頼も計画的に取り組んだ。
- ・ 自転車通学が必要な生徒・保護者には、東京都教育委員会の方針（必ずヘルメット着用を求める）に理解と納得をしてもらうための工夫をした。結果、関係する生徒・保護者に宣誓してもらうことができた。

### 【募集・広報活動】

- ・ 学校見学会、学校説明会、個別相談会の他、今年度も長期休業期間中の平日に小規模な学校見学会を企画運営した結果、3年連続で中学生・保護者の参加人数の前年度比増を達成できた。
- ・ 足立区内中学校から依頼された進路行事には積極的に参加した。
- ・ 授業公開は計画どおり10月に実施した。
- ・ 学校ホームページ等を介した学校情報の発信は、更新計画の見直しを図った。前年度よりも一層更新が円滑となり当初目標達成と同時に教員の負担軽減も図ることができた。
- ・ 「学力検査に基づく選抜（第一次募集）」における最終応募倍率は1.54と前年度同数値を上回ることができた。
- ・ 都立学校開放事業は、東京都教育委員会の指導に基づき適切に対応してきた。

### 【学校経営・組織体制】

- ・ 企画調整会議を中心とした組織的學校経営を推進してきた。管理運営規程に基づく学校運営の徹底を通して、組織的な業務遂行と諸課題の解決に取り組んだ。
- ・ 職員会議の定刻開始と予定時間内終了の徹底等により教員のライフ・ワーク・バランスの一層の推進を目指した。
- ・ 都教育委員会の指導に基づく服務事故防止研修の実施のみならず、基幹会議を通じて服務の厳正について毎回の指導・注意喚起はもとより別途自主的な研修機会を企画実施した。

## （2）今年度の「数値目標」の実績

| 数値目標                                         | 実績     |
|----------------------------------------------|--------|
| 「授業外学習時間一日平均 60 分以上」習慣化確立 2 年連続 60%以上        | 77.5%  |
| 平日及び長期休業日等における補習・講習を 50 講座以上開講               | 105 講座 |
| 授業力向上に資する校内研修を年 30 回以上実施                     | 35 回   |
| 教員相互の授業見学実施率 100%                            | 100%   |
| 外部模試等の実施に合わせた学年集会を核とした進路指導年 9 回以上            | 9 回    |
| 現役四年制大学・短期大学進学割合 3 年連続 60%以上                 | 65.6%  |
| 部活動単位での「勉強会」実施 5 団体以上                        | 5 団体   |
| 進路未決定者（進学準備を除く）1.8%以下                        | 1.8%   |
| 東京都教育委員会の方針を踏まえ自転車通学時のヘルメット着用の促進に資する指導等を毎月実施 | 毎月実施   |
| 学校ホームページ等による各種情報発信を年間 300 件以上                | 271 回  |

## 2 次年度以降の課題と解決に向けた方策

### （1）学習指導

- 課題** ・生徒の学力向上、基礎・基本の徹底と発展・応用の充実  
・授業外学習習慣の定着
- 方策** ・アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業及び一人1台端末を活用した授業の推進  
・授業力向上のための授業研究、校内研修や教員相互の授業見学等を継続  
・全学年実施の「朝学習」の継続

### （2）生活指導

- 課題** ・自己指導能力を身に付けさせる生活指導の更なる工夫  
・規範意識の醸成
- 方策** ・生命及び人権尊重の理念に基づく生活指導の推進  
・社会や学校において他者と集団生活を送る上で必要なルール、マナー、モラルを身に付けさせ、

確かな自己指導能力を醸成

- ・遅刻防止、頭髮、服装（身だしなみ、装飾品や化粧への指導を含む）への指導の充実
- ・校則見直しの機会をととして、校則は学校生活を送るに当たり、必要かつ合理的な範囲で、定める学習上・生活上の規定であることへの理解を深めさせることにより、一層、規範意識の醸成と卒業後に求められる社会性を身に付けさせる。
- ・学校の指導方針について保護者へ十分な周知を図る。

### （３）進路指導

**課題** ・進路指導部主導による指導体制の定着と質的向上

- 方策** ・キャリア教育を核とした進路指導計画と指導の実践
- ・「学年集会を核とした進路指導」「丁寧な個人面談」の推進
  - ・進路指導部主導による学力分析会の実施
  - ・進路指導部主導により長期休業日等の補習・講習を他分掌等と連携協力しながら企画・運営

### （４）特別活動・部活動

**課題** ・多様な他者と協働して活動する意義と行動の仕方を身に付ける

- ・集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度の育成

**方策** ・集団生活や人間関係の課題を見だし、解決に向けて話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりする経験を積ませる。

- ・生徒が特別活動や部活動等に主体的に取り組み、達成感や自己有用感を味わわせる指導の工夫を図る。

なお、部活動は文化・運動系を問わず東京都が示すガイドライン等に基づき実施する。特に、休養日や活動時間の計画は適切な内容とし、より一層、合理的かつ効率的・効果的に取り組む。

### （５）健康・安全

**課題** ・交通安全教育、薬物乱用防止教育、防災教育、問題行動等未然防止、不登校・中途退学防止に資する指導と教育相談体制の充実

- 方策** ・警察・消防等関係諸機関と連携した交通安全教室、薬物乱用防止教室、防災訓練等の実施
- ・スクールカウンセラーとの連携を充実させ生徒の特性に起因する諸課題解決に当たる。
  - ・教育相談委員会の計画的な実施。生徒情報交換会の実施。

### （６）募集・広報活動

**課題** ・「学力検査に基づく選抜（第一次募集）」における募集人員を上回る最終応募人員の確保

- 方策** ・学校内外における学校見学会、学校説明会等の企画の見直し
- ・学校案内、学校ホームページ等による情報発信の在り方の工夫改善

### （７）学校経営・組織体制

**課題** ・サービスの厳正

- ・学校経営計画の具現化
- ・教職員のライフ・ワーク・バランスの一層の推進

- 方策** ・悉皆の服務事故防止研修のほか、自主的な研修の企画・実施を継続
- ・企画調整会議を中心とした学校経営の推進
  - ・ミドルリーダー、若手教員育成の推進
  - ・ライフ・ワーク・バランスの推進に向けた各種取組の実施
  - ・校務遂行の効率化を図るべく、手順書・引継書等作成の徹底